

藤井寺市観光ボランティアの会

美陵ガイドクラブ会報

10周年記念号

〒583-8583 藤井寺市岡1-1-1 (藤井寺市役所 藤井寺市観光協会内)

TEL : 072-939-1086 FAX : 072-936-9777

URL: http://www.fujiidera-kanko.info/volunteer/volunteer_top.html

第 15号 2015年 7月

《 お祝いの言葉 》

藤井寺市長 國下 和男

藤井寺市観光ボランティアの会が創立10周年を迎えられましたこと、心よりお喜び申し上げます。また、これまで会の活動を支え続けてこられました、小野会長はじめ歴代会長、役員並びに会員の皆様方に深く敬意を表するものでございます。

貴会におかれましては、平素より市内近郊の史跡や寺社、文化財などのボランティアガイド活動をはじめ、百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産登録実現に向けての取り組みや学校現場における歴史遺産教育へのご協力など、本市の観光振興並びに郷土愛の醸成に多大なご貢献を賜っておりますことに、厚く御礼申し上げます。

藤井寺市は市域が8.89平方kmと小さく、コンパクトな住宅衛星都市であることから、まちを発展させていく手段として、既存の観光資源を有効活用していくことが重要です。幸いにも、本市には世界文化遺産登録を目指しております古代王家の墓である古市古墳群や、長い歴史を持ち日本全国に知られる神社や古刹がございます。これらの価値を広くアピールし、より多くの方々に知っていただくことで、市の活性化につなげて参りたいと考えています。

そういったことから、皆様のお力が大変重要でかけがえのないものとなっておりますので、今後とも更なるご支援・ご協力を賜りますよう、切にお願い申し上げます。

結びに、藤井寺市観光ボランティアの会の今後益々のご発展と会員皆様のご健勝・ご多幸を祈念致しまして、お祝いの言葉と致します。

藤井寺市観光協会会長 岡本 勝彦

藤井寺市観光ボランティアの会設立10周年、誠におめでとうございます。

貴会は平成17年の設立以来、順調に発展を遂げられ、現在では会員60余名を擁する立派な会として、本市のみならず近隣でも深く信頼を集めておられますことを、藤井寺市の観光に共に携わる者として誠に心強く、また誇らしく感じるところでございます。ここに歴代会長をはじめご関係の皆様のごこれまでのご苦勞に対しまして、深く敬意を表す次第でございます。

貴会の皆様は、観光ガイドや、秋季・春季ウォーク、古墳群の世界遺産登録推進、子供たちの学習活動、市民まつりにおけるイベントなどで大変ご活躍されているほか、当観光協会の各種事業にも多方面でご協力いただいております。今や藤井寺市の観光振興になくはない存在であると感じるところでございます。おかげをもちまして観光に訪れる方々にも非常にご好評をいただいております。改めて御礼申し上げます。

各事業で皆様とご一緒させていただく中、私が感銘を受けておりますのは、年月を重ねてますますの活気と勉強熱心さ、真心こもったおもてなし、そしてこれらを支える「和」「やりがい」「楽しさ」をおもんじる会の風土でございます。

当協会としましても貴会に劣らず一丸となって、歴史豊かな藤井寺市の観光振興に邁進する所存でございます。終わりに、貴会の益々の御繁栄と皆様のご多幸を御祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

藤井寺市観光ボランティアの会 会長 小野 常芳

平成 17 年 9 月に発足いたしました藤井寺市観光ボランティアの会は、当期 10 周年を迎えることとなりました。私共の活動には市長のご理解のもと、観光協会、商工観光課をはじめ、教育委員会、文化財保護課、世界遺産登録推進室や商工会、市中の寺社・仏閣、協力企業様、近隣諸団体等々の暖かいご支援、ご協力の賜物と厚く感謝申し上げます。

10 周年後は世界遺産登録を控えての、観光ガイドのスキルアップと当会の活動全般の更なる基盤整備を行い、藤井寺市の発展に少しでも寄与できますよう、会員一同精励努力してまいり所存で御座います。今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

《 道明寺天満宮梅まつり 》

今年も道明寺天満宮で恒例の「梅まつり」が 2 月 8 日～3 月 12 日の間、開催されました。

期間中、当会では 2 月 8 日～28 日まで境内にテントを設けさせていただき、お参りされる方々に天満宮の縁起や古市古墳群の地図などの配布とあわせて世界遺産登録に向けた PR 活動もさせていただきました。この時期天候は例年のごとく定まらず、当初は雪やシヨボ降る雨に梅の開花を待ちわびるお客様の出足も鈍くなりがちでしたが、後半になるとようやく梅も咲きそろい、お参りの方も多くなりました。

大阪市内や近隣の各市からだけではなく遠くは三重県などからも沢山の皆さまがお見えになり、梅の馥郁とした香りを楽しんでいただけました。

天満宮のミニガイドを希望される方も多くあり、活動の広がりを感じる日々でした。

また、菅原道真公への奉納俳句も締め切りが迫るに連れて持参頂く人が多く、常連さんのクチコミも大きな宣伝力になっていました。

期間にお越しいただきましたお客様を初め、天満宮の関係者や香しい梅を育てていただきました皆様方、ご協力いただき大変ありがとうございました。(坂谷)



《 春季ウォーク “土師氏と古市古墳群” 講演と観梅とウォーク 》

2 月 21 日(土)に恒例の春季ウォークがありました。5 分咲きながらほのかな梅の香りのする道明寺天満宮をスタート地点にして、暖かい日差しの中絶好のウォーク日和になりました。

今年は藤井寺ライオンズクラブとの共催で、藤井寺市世界遺産推進室長の山田氏の講演があり、道明寺天満宮・道明寺をユーモアたっぷりに深くお話し頂きました。

その後のウォークでは三つ塚古墳、大坂夏の陣というスパイスも利かしながら古室山古墳へと登り、応神天皇陵古墳は 3～4 班のガイドが重なる花盛りでした。市立図書館で本物の小修羅に感動された方もおられ、津堂城山古墳に着くと、温かいコーヒーや懐かしい演奏とコーラスに出迎えられてほっと一息。和やかな雰囲気の中でお弁当を広げたり、中には一緒に口ずさむ方もおられ、皆さんそれぞれに楽しめました。そのあと善光寺さんのお参りを希望されている方々は藤井寺駅までお見送りしました。

「わたしはこれから堺まで歩きますわ」と言われた方が 24 日の梅まつり当番の時にこられ「この間はお世話になりました」と握手されて大照れのオマケ付、ガイド冥利の春季ウォークになりました。

ご協力をいただいた N I C E ! 藤井寺バンドの皆様をはじめ、コーラスの菊矢様グループの皆様そしてガイダンス棟職員様に感謝申し上げます。(大森)



《 葛井寺 藤まつり 》 4月19日～5月2日

藤まつり開催の時期に合わせ、今年も南大門北側にテントブースを開設しました。連日のように降り続いた雨に、開設当初は、お天気が心配でしたが、20日を除いては晴天が続き、最終日には、まるで初夏のような陽気になりました。このテントには2週間を通じて812名、中でも最も多い26日は110名のお客様がこられました。また今年、初めての取り組みとして古代衣装を貸し出していたの撮影会を26日と5月2日の日曜日に開催しました。2日間で、12組24名の希望者がおられました。それぞれ手持ちのデジカメやスマホ、携帯での撮影でしたが、ご自身で写し映えを確かめては、大満足のご様子でした。子供連れのファミリーに主に声掛けしたのですが、意外とご両親や若いカップルの方が、興味を示されていました。

海外の方も2人撮影しました。京都や温泉旅館で着る和服と違い大変喜ばれていました。

満開の藤の花と共に、新企画の古代衣装撮影会は大好評、大成功裡に終わることが出来、心から嬉しく思いました。

ほのかな香り漂う藤の花の美しさは、見る人の心を優しくする力を持っていることを再認識させてくれた藤まつりでした。葛井寺や藤まつりの関係者の方々をはじめお訪ねくださった皆様に感謝申し上げます。(東)



《 小学校の世界遺産学習 》 4月28日～6月11日

藤井寺市教育委員会が市内全小学校の6年生を対象とした世界遺産学習の一環である「フィールドワーク」のお手伝いを、文化財保護課の方々と共に致しました。

5月19日(火)藤井寺小学校児童181名を長持山石棺前で出迎えました。「お早うございます！」元気な声と大人数の子供たちに圧倒されました。



私達は「仲姫命陵古墳」担当しましたが、生徒達は学校での授業の成果を発揮し、私達の問いにハキハキと答えてくれました。

又、付近の民家の屋根が眼下に見える事を説明する事で仲姫命陵古墳が国府台地の高台にあることを実感しているようでした。

小雨降る中、熱心に耳を傾けメモを取る姿に今以上に藤井寺市の歴史と価値を認識し誇りを持ってほしいと願う気持ちで一杯になりました。(菱木)

《 葛城・秋津洲の道を歩く 》

3月17日「葛城・秋津洲の道を歩く」の現地見学会が快晴に恵まれた中、39名の会員が参加して行われました。当日は、JR和歌山線玉手駅に現地集合。そこを出発点として、御所市観光ボランティアガイドの詳しい説明のもと、孝安天皇玉手山上陵、白鳥伝説で有名な琴弾原陵、掖上かんす塚古墳、神武天皇の国見で有名な国見神社、三光丸クスリ資料館等を廻りました。

日本武尊は、白鳥伝説で有名ですが、その一つである琴弾原(御所市富田)を見学して、その外周を歩いて、見た所どこにでもあるごく普通の山のような気がするが、すごく思い入れがあってとても良い現地研修になったと思います。日本書紀によると東征を終えた神武天皇は橿原の地で即位した後、国見山に登って、「国を見」られたという国見神社にも行きました。大古の時代を想像するだけでもワクワクしてくるようでした。今回現地研修のよさをあらためて再認識した1日となりました。今回参加者も多くわきあいあいと有意義な研修会となってよかったと思います。(杉森)



ガイド新コースのご案内 (大坂夏の陣から 400 年を迎えて)

ガイド部では、このたび、大坂夏の陣 400 年に因んで「大坂夏の陣道明寺合戦 道明寺磧・誉田古戦場を歩く」のコース及びマニュアルを策定しました。

3 月には、会員による試歩を行い、ホームページ・IT 部と連携して、4 月 16 日、当会のモデルコースとしてホームページに掲載しました。土師ノ里駅からスタートして、長尾街道、道明寺合戦記念碑、石川河原(小松山古戦場眺望)、薄田隼人の碑、誉田古戦場、応神天皇陵古墳外濠、古室山古墳、道明寺を巡り、道明寺駅をゴールとする 6.4 km の行程です。

このコースは、慶長 20 年(1615 年)5 月 6 日、後藤又兵衛隊が小松山で徳川方と戦った早朝から真田幸村隊が誉田から退却する夕刻までの道明寺合戦の様子が大変良く分かります。

すでに、地元林地区の方や府外の方をご案内しましたが、国府台地の高低差のある地形や古墳を利用した豊臣・徳川両軍の布陣、武将たちの戦術には興味や関心が集まり、大変好評でした。

これからもお客様の意見などを参考にしながら、さらに充実したマニュアル作りやガイドを目指したいと思っています。

また、要望の強い小松山古戦場址、玉手山を歩くコースやマニュアルづくりにも取り組む予定にしています。

会員の皆様には、1 人でも多く、このコースのガイドやサポーターとして参加していただくようお願いします。

(ガイド部 勝部)



古墳のある風景 6 川上 恵

冷淡さと優しさと

濠を風が渡った。さざ波が水面に広がった。
金砂銀砂をばらまいたような波頭が美しい。
背中の赤い大きな亀が、水の中から顔を出した。古代なら間違いなく吉祥である。

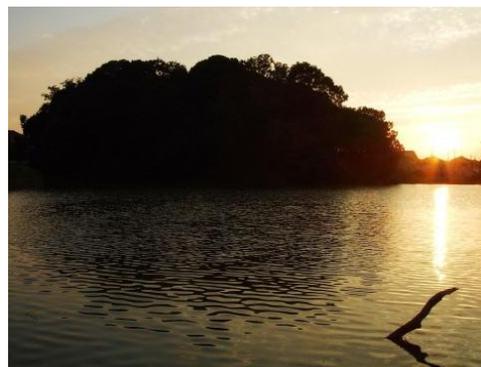
だが私には、目の前の陵と雄略帝が結びつかない。その名に比して墳墓が小さく、雄々しさが感じられない。

「こもよみこもちふくしもよ……」

万葉集の第一首はこの歌から始まる。

そこの若菜を摘んでいる君、僕も名乗るからさあ、君も名前を教えてよ。今風に言えばナンパの歌である。またある女性には、僕が必ず迎えに行くから誰とも結婚しないでよ。と熱く囁いたかと思うと、そんなことはすっかり忘れてしまうという薄情さ。そのうえ自分が王権を得るためには、身内をも殺してしまう残忍、非道ぶり。

だが、ふと何かの拍子に先の女性との約束を思い出し、いまや面影も残っていない老女に温情を示す。残忍はもってのほかだが、冷淡さと優しさの二面性を持った男性にも、女性は魅かれるものだ。多分。雄略帝に思いを馳せている内に、水面は金砂ばかりになった。夕焼けが美しい。



雄略天皇陵古墳